

# みどりのこえ



「みどりのこえ」  
掲載webページは  
こちらから

2026  
春号  
No. 72

発行 長野県環境保全研究所  
令和8年(2026年)3月23日

編集 長野県環境保全研究所 自然環境部(飯綱庁舎)  
〒381-0075 長野市北郷 2054-120  
TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929  
E-mail:kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

美ヶ原から北アルプス(穂高連峰・槍ヶ岳～爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳)の眺望。  
手前に垂高山帯・草原が広がり、その間には糸魚川-静岡構造線にあたる松本盆地が見える。



## 「長野県生物多様性センター」発足にあたり

生物多様性は私たちの暮らしを支える基盤であり、その保全や多様性の増進は、国際的にも喫緊の課題となっております。世界的視点でも日本列島は最も重要な地域の一つで、生物多様性の「世界的ホットスポット」とされます。なかでも信州は、高山帯・亜高山帯といった山岳、里地・里山、草原、河川や湖沼などの多様な自然環境を有し、国内外に類のない生態系の豊かさを誇る地域です。しかしその豊かさは、人間活動や関連する気候変動の影響で確実に変化しています。

また、気候変動の影響が真っ先に出るのは「山岳」とも言われており、日本を代表する山岳県として、長野県は日本全体そして世界のためにも、生物多様性の保全に率先して取り組むべき重要な地域です。生態系の変化を正確に把握し、地域の生物多様性の衰退を食い止めるだけでなく、回復軌道へと転換すること、すなわち「ネイチャーポジティブ」へと導くことが、昨年末に開設された長野県生物多様性センターの責務であると考えております。

生物多様性に関わる様々な課題は行政だけで解決できるものではなく、多様なステークホルダーの皆様との協働は不可欠です。当センターは地域の取り組みを後押しし、県民や事業者の皆様とのハブとして多様な関係主体を繋ぎ、科学的知見を現場に届けて対話を重ねながら、皆様が主体的に参加できる環境づくりを進めて参ります。地域と行政、企業、学校、大学や研究機関、博物館や図書館等との連携を深めながら、生物多様性の増進を実現するための拠点として、「協働の輪」を拡げてゆけたらと思います。

古くから生物多様性の重要性を深く認識し、その恵み(生態系サービス)を上手に利活用してきた伝統に学び、活かし、継承しながら、「ネイチャーポジティブ」に向けた信州の新たな取り組みが、国内外のモデルケースとなるよう努めて参りたいと思います。

文・写真 東城 幸治 とうじょう こうじ  
長野県生物多様性センター長

### Contents

【巻頭言】「長野県生物多様性センター」発足にあたり (東城幸治/長野県生物多様性センター長) …	1
【特集】長野県生物多様性センターが開設されました …	2～7
【Report】自然ふれあい講座 …	8
【Report】山と自然のサイエンスカフェ@信州 …	9

長野県で開始される渡り鳥アカモズの保全 …	10
【信州気候変動適応センター通信】放置竹林と気候変動 —「ゼロカーボンミーティング in 佐久」 …	11
【お知らせ】令和8年度のイベント予定 【長野県生物多様性センター通信】 …	12